

現在の歯科保健目標の指標	改定案の目標に関連する29年度事業			
	生涯を通じた歯と口腔の健康づくりの推進	かかりつけ歯科医の定着と医科歯科連携の推進	障害児(者)の歯と口腔の健康づくりの推進	在宅歯科医療体制の推進
歯と口腔の満足度の向上 歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合(80歳以上) 8020運動の推進 8020を知っている都民の割合(20歳以上) 8020を達成している都民の割合(80歳)	・「いい歯東京」の推進 ・歯科保健対策推進協議会 ・歯科口腔保健推進事業			
幼児期 う蝕のない者の割合(3歳) フッ化物配合歯磨剤を使用している者の割合(3歳) 甘味飲料をほぼ毎日飲む者の割合(3歳) 週に1回以上、子供の歯と口腔を観察している保護者の割合(3歳) かかりつけ歯科医を持つ者の割合(3歳)	・すこやか家族表彰 ・8020運動推進特別事業(食育支援講演会) ・保健医療政策区市町村包括補助事業(フッ化物洗口支援事業) ●1.6歳歯科健康診査(区市町村) ●3歳児歯科健康診査(区市町村) ●乳幼児期歯科健康診査(区市町村) ●乳幼児期歯科相談(区市町村)	・都立心身障害者口腔保健センター管理運営 ・保健所歯科保健推進事業		
学齢期 一人平均歯数(12歳) 歯肉に炎症所見のある者の割合(12歳) ほぼ毎日、1本ずつ丁寧に歯を磨く者の割合(12歳) かかりつけ歯科医を持つ者の割合(12歳) ゆっくりよく噛んで食べるようにする者の割合(9歳)	・歯科保健医療普及啓発事業(上野動物園行事等) ●学校歯科健診(教育庁・区市町村) ●学校健康教育(教育庁・区市町村)			・8020運動推進特別事業(在宅歯科医療研修会) ・在宅歯科医療設備整備事業 ・在宅歯科医療推進支援体制整備事業 ・医療保健政策区市町村包括補助事業(摂食嚥下機能支援事業) ・医療保健政策区市町村包括補助事業(介護保険施設歯科健康管理支援に関する事業)
成人期 進行した歯周病に罹っている者の割合【CPIコード3以上の者の割合】(40歳:35~44歳) 24歯以上有する者の割合(60歳:55~64歳) 8020を知っている者の割合(20歳以上) 糖尿病・喫煙が歯周病のリスクであることを知っている者の割合(20歳以上) 週に1回以上、フロスや歯間ブラシを使用している者の割合(40歳:35~44歳) かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合(40歳:35~44歳)	・歯周疾患検診改善事業(歯周疾患検診) ・歯科保健医療普及啓発事業(上野動物園行事、禁煙フォーラム、糖尿病講演会、産業歯科保健講習会)	・周術期口腔ケアにおける医科歯科連携推進事業 ・歯科保健医療普及啓発事業(糖尿病講演会) ・エイズ協力歯科医療機関紹介事業 ・歯科医療従事者エイズ臨床研修	・都立心身障害者口腔保健センター管理運営 ・保健所歯科保健推進事業 ・心身障害児(者)歯科診療補助	
高齢期 歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合(80歳以上) 8020の達成者の割合(80歳) 口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている割合(20歳以上の都民・すべての職員が知っている介護保険施設→H26は、「ほとんどの職員」が知っている) よく噛む(一口30回程度)ようにしている者の割合(65歳:60~69歳) 在宅療養者の摂食・嚥下障害に関して、医師・歯科医師等と連携している訪問看護ステーションの割合	・8020運動推進特別事業(食育支援講演会)			